



東洋町議会だより

東洋町議会  で検索!



消防出初式一斉放水 (1月5日)

第172号

2026年(令和8年)2月1日発行

議会だよりは、スマートフォンからも
ご覧いただけるようになりました。



主な内容

令和7年第4回定例会 (12月議会)

- こんなことを決めました P2~3
- 令和7年度補正予算 P4
- 町長行政報告 P5
- 一般質問 P6~10
 - 6名(武山議員、高畠議員、廣田議員、大坪議員、
安岡議員、田島議員)
- 各議員の出務状況、議会の動き P11

こんなことを決めました！

条例改正

町長等の給与及び旅費支給条例の一部改正

特別職の期末手当の年間支給月数を0・05月分引き上げる改正。

(特別職の給料額改正を含んだ条例案を撤回し、期末手当改正のみで再提案)

議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部改正

議会議員報酬額の2万円増額(別表参照)と期末手当の年間支給月数を0・05月分引き上げる改正。

及討論

田島毅三夫議員

物価高騰による住民の生活困窮の中で住民代表として選ばれた選良議員が月額2万円上げることには反対である。

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告により、期末、勤勉手当の年間支給月数を0・05月分引き上げる改正。

東洋町看護師等養成奨学金貸付条例の一部改正

奨学金の償還免除要件を見直す改正。

東洋町における高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例の一部改正

根拠法令である高齢者、障害者の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令の改正に伴う条番号ずれを修正する改正。

東洋町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

乳児等通園支援事業の設

備及び運営に関する基準の施行に伴う本町の運営基準の制定。
東洋町税条例の一部改正
個人住民税の特定親族創設などに伴う改正。

意見書

採択

臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書

委員会報告

東洋町議会のデジタル化に関する特別委員会

「デジタル化の第一歩として、令和8年度からタブレット端末の運用を開始するため、タブレット端末費用を当初予算で計上するよう町へ要望する」ことを決定した。

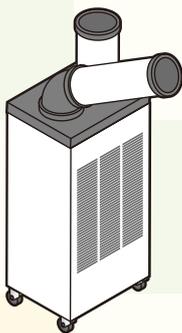
また、タブレットの運用面については、未決定であ

るので本特別委員会は継続し、次期改選後の議員で本格的な運用方法についての協議を進めていく。

総務教育民生常任委員会

11月4・6日に、両保育園・野根中学校・甲浦小学校への学校訪問を実施し、要望、意見等について懇談した。

本年度、スポットクーラーを急ぎよ設置して熱中症対策を行ったが、この状況はしばらく続くと思われるので、政府の有利な補助金などを活用して財源を確保し、ぜひ、児童生徒、園児の各施設へエアコン設備を早急に設置されたい。



学校訪問 甲浦小学校



学校訪問 野根中学校体育館スポットクーラー

東洋町議会議員の定数及び報酬に関する特別委員会
最終報告（要約）

「議員定数」について、本町の現状に見合った議会に再編して、効率的な議会運営を図るために、現行定数から1名減の8名との削減案を決定し、6月定例会に提案、原案可決した。

「議員報酬」については、幅広い人員確保と議員活動の向上を図っていくために、報酬増額の改定案を示し、報酬額等審議会での審議を要望した。その答申内容は「議員定数が1名減となる金額で賄える、現在の報酬額より2万円増額することが適当であるが、議員活動の活性化を条件に報酬を増額する」であった。委員会は、この答申内容を尊重することに決定。その答申の中の付帯意見には「住民に理解されるような議会活動を行う必要がある」などの議会に対する厳しい意

見があった。
私たちが議員は、これらの意見を真摯に受け止めて、これからの議会活動の活性化と、開かれた議会になるよう、議員全員で努力することとした。

議会議員報酬額の改定

区分	現行	改正後	改定額
議会議長	23万3千円	25万3千円	2万円
議会副議長	19万1千円	21万1千円	
各委員長	17万4千円	19万4千円	
議会議員	16万3千円	18万3千円	

定期監査実施

11月24・30日、令和5年度（繰越）及び令和6年度旧甲浦灯台避難路整備工事と令和元年～令和5年度（繰越）野根川橋橋梁工事について定期監査を実施



監査結果・監査対象8件の工事について、担当部署へのヒアリングを行い、工事施工時から書類一式を監査、併せて実地検査を行った。書類監査については、工事関係書類及び支出関係帳簿類は適正に処理されている。

指摘事項・実施検査の結果

旧甲浦灯台避難路整備工事については、工事完成後、半年が経過し、階段等に落ち葉や少量の土砂が堆積している箇所があった。また、避難所である旧灯台付近の平坦な場所については、雑草の繁茂が確認された。避難所としての今後の管理に留意されたい。

野根川橋橋梁工事については、支出事務の処理において、書類の一部に不備が見受けられた。野根川橋は架設年次が昭和6年3月で90年以上経過しているが、今回の5カ年をかけた橋梁工事により橋梁が長寿命化されたことで、住民の役に立つ「野根川旧橋」として未永く利用されることを期待する。



第4回 定例会

令和7年度補正予算

主な議案質疑

一般会計(第3号)

土地売却収入

32万8千円

問 場所と面積、使用目的について聞く。

答 県道甲浦インター線にかかる用地を高知県への売却収入で、場所は旧白浜消防車庫用地、白浜113-1、面積30・05㎡である。

物価高対応子育て応援手当給付金
330万円

問 対象年齢、支給額、支給時期などについて聞く。

答 令和7年9月分の児童手当受給者、また、令和7年9月30日(基準日)の翌日以後、令和8年3月

31日までに生まれた子どもも対象となる。支給額は、一人当たり一律2万円、支給時期は、令和8年2月から3月に実施予定である。

甲浦保育園高台移転敷地造成測量設計委託料

4千77万8千円

問 当初予算2千422万2千円、補正が追加されて合計6千500万円となる。追加された委託内容について聞く。

答 甲浦保育園高台移転場所が甲浦浄化センター裏に変更となった。作業期間短縮のため従来の測量方法からドローンを使った三次元測量への変更と法面施工の防災及び安全性確保のために4本(ボーリング)、地震発生時の地盤沈下検討のための地盤調査5本の追加である。

産業振興推進総合支援事業費補助金

△7千500万円

問 町海産物製造業者の加工施設の設置費用と聞いたが、減額した理由を聞く。

答 基本計画の策定段階で建設事業費や加工施設規模の確定に時間を要し、また建設工期を11カ月程度見込んでいたが、繰越を前提とした計画を県の補助事業では認められなかったため令和7年度建設に着手することが困難となったためである。

白浜グランドピング整備事業委託料

△6千100万円

問 当初予算議決から9カ月経過したこの時期に予算減額となった原因、理由を聞く。

答 6月に白浜地区住民や観光関係者による宿泊施設整備・検討会で意見を

聞き、設置場所や規模などを検討し、事業の採算性などの課題があることから断念したためである。

特別会計

国民健康保険事業(第3号)

介護保険事業(第3号)

観光施設事業(第1号)

質疑なし

公営企業会計

下水道事業(補正第1号)

簡易水道事業(補正第1号)

質疑なし

令和7年度 補正予算

※公営企業会計は歳出を掲載

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		△7508万5千円	42億9845万2千円
特別会計	国民健康保険事業	58万円	5億5447万1千円
	介護保険事業	280万円	5億8271万9千円
	観光施設事業	36万6千円	2164万6千円
公営企業会計	下水道事業	33万8千円	2億423万1千円
	簡易水道事業	13万円	1億7977万8千円

第4回定例会◇12月議会◇

町長行政報告 (要旨)



長崎 正仁 町長

令和7年度国勢調査

本年は5年に一度の国勢調査の年でありましたが、前回、令和2年調査の2194人から1849人という結果でありまして、5年間で345人のマイナスとなっております。

本町の人口減少の課題の一つが、若年層の流出にあります。若年層の流出により、少子化が進んでいます。

来年度へ向けて、新たに若者定任対策に着手してまいります。

南海トラフ地震対策

本年は、本町防災士連絡会と連携し、町民の皆さまを対象とした6月の防災研修会に続き、11月の津波避難訓練には124名、甲浦小学校体育館での避難所運営訓練には26名の参加があり、本町避難施設間での情報伝達訓練も実施し、災害時の通信手段の確保に向けて確認したところがあります。

その避難所となる学校体育館などへの空調設備につきましても、次年度以降に整備を進めてまいります。事前防災対策を行政と地域、そして

て各家庭との連携・役割分担によって、災害に強い町づくりを進めてまいりますので、引き続きのご理解ご協力をお願い申し上げます。

秋のイベント・行事

9月20日には、野根川清流保全協議会主催の野根川鮎まつりが開催されました。鮎釣り体験、鮎と鰻のつかみ取り、鮎の炭火焼などが行われました。

10月25日には、集落活動センターが主催のハロウィンイベントが行われました。10月26日、27日には、東洋町文化協会主催の「第49回東洋町文化祭」が開催され、趣味の作品展や演芸大会が行われました。

11月8日、9日には、東洋町観光振興協会主催の「ビーチサッカーフェス」が行われ、現日本代表選手により、ビーチサッカー体験会をはじめ、四国ビーチサッカーリーグU-15大会が行われました。

そして、地域住民が主体となった活動実績も出てきておりまして、野根地区婦人会により「のねっ子食堂」も定着し毎回大盛況に終え、名留川地区では漬物や味噌などの製造・販売、中村・押野地区では田園一面に広がるコスモス畑を耕作し、集落活動センターなどでは東京アンテナショップまで高知へ芋の加工品を出すなど、一段と活気を感じているところであります。



まるごと高知へ出品

野根小中学校一貫校への移行

本町教育委員会では、少子化を迎えた中での学校再編に向けて取り組んできたところがあります。

地域の社会資本施設であ

る学校を地域からではなく、野根中学校と現在休校の野根小学校を小中一貫校へと移行し、野根小学校を拠点とすることにいたしました。移行期間を設けて、野根小学校への移転については次年度2学期の開校を目指しておりますので、学校関係者の皆様方には、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

現在、野根中学校の生徒は6名、内1名が本年度卒業予定で、次年度は野根小学校へ1名が入学予定のため、全校児童生徒6名となります。また、山村留学制度を導入して、現在中学生1名ですが、新たに小学生1名、中学生1名が山村留学を希望しております。

12月16日には、ICTを活用し、甲浦小学校と守口市立小学校との交流授業を予定しておりますが、このデジタル技術を活用した交流授業の取り組みが小規模学校の本町各学校で定着することを期待しております。

物価高騰について

築地 仲音 総務課長

一人3万円の地域振興券を配布する考えである。



武山 裕一 議員

築地総務課長 全住民を対象に、一人3万円の地域振興券を配布する考えである。町内において、食料品や日用品の購入、ガソリンの給油、飲食店などで利用でき、令和8年4月1日から使用できるよう準備を進めている。

図 最近日本において物価高騰がとどまることを知らず、日本国民が苦しい生活を強いられている。東洋町として、町民に対してどういった支援や政策を考えているのか聞く。



高知新聞に掲載された第三者委員会の報告について

田岡 伊織 住民課長

公認心理師によるカウンセリングを実施している。



高島 俊彦 議員

師によるカウンセリングを実施している。希望があれば、卒園児を含むお子さんについてもカウンセリングが可能である。1回あたり2時間の開催で1時間ずつ2組まで受ける事が出来る。場所は、役場か保育園の選択になる。

図 不適切保育が3件認定されているが、どのような形で子どもに対する心理的ケアを行っているか聞く。



田岡住民課長 令和6年8月から公認心理

南海トラフ地震対策について

足達 善亮 産業建設課長補佐

必要に応じて架け替えや橋梁の集約化を検討しなければならない。

図 小池地区避難タワー横の橋は耐震などの対策が必要ではないか聞く。

足達産業建設課長補佐

コンクリート橋は、令和5年1月に橋梁補修工事を実施したが橋

長が短く、単純構造のため、耐震補強工事を実施していない。今後は、他の橋と整合性をとり耐震化工事を実施したい。鉄板の橋については、河川を渡るための通路であり、橋梁と認識していない。必要に応じて架け替えや橋梁の集約化を検討しなければならない。

図 甲浦西地区からの



甲浦小学校裏山避難場所

要望書の件について、甲浦小学校裏山の避難場所は、山の持ち主から無償で借りている。町が買い取るべきと思うが考えを聞く。築地総務課長 地権者との「防災倉庫設置に伴う土地使用承諾（書）」により防災倉庫を設置し、管理については、自主防災組織で行っている。今後、使用料など内容の見直しを検討したいと考える。

中学校部活地域移行について 海陽町と連携すべきでは？

生松 克祐 教育次長

県外の部活関係者との協議や、保護者の理解が必要になっていく。



廣田 齋史 議員

○ 義務教育学校の移行については、以前から何度か質問しているが、その後の進捗状況は。
蛭子教育長 今後の小中学校の在り方については、学校運営協

議会や総合教育会議、教育委員会で協議した結果、現状維持していく方向で説明している。

○ 中学校部活地域移行について、本町の取り組みの現状は。

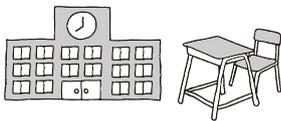
生松教育次長 本町の取り組みとしては、まだ始まったばかりで、具体的な取り組みはないが、今後は、指導者の発掘、人選などを行っていかなければならぬ。

○ 部活地域移行は、本町の生徒数の減少を考慮すると、今後

は海陽町と連携することを考えるべきではないか。

生松教育次長

海陽町と連携していくためには徳島県の部活関係者との協議や、保護者の理解も必要になる。海陽町は現在美波町、牟岐町の3町で検討委員会を立ち上げ、協議している段階である。



南海トラフ地震被災時、高台移転計画中の甲浦保育園には何人程度の、避難所生活が可能か？

手島 憲作 住民課長

令和8年度に予定している基本計画策定時に、防災担当も参加し決定する。

○ 現在、高台移転計画中の甲浦保育園の候補地は、想定浸水エリア外にあり甲浦地区の、貴重な避難所にもなると期待するが何名程度の避難生活が可能なのか。

手島住民課長 現在はまだ規模が確定していないので分からないが、令和8年度に予定している、基本計画策定において、防災担当とも協議していく。



避難所運営訓練

築地総務課長 国の補助金を活用して撤去する予定だが、B&G 海洋センターの体育館とプールの取り壊しを優先しなければならず、早ければ10年度に除去出来るよう考えている。

○ 老朽化がひどい、ふれあい館なごみの旧校舎部分の撤去について、大きな地震が起これば倒壊する危険があり、グループホーム慎太郎の施設利用者の避難路を塞ぐ恐れがあるため早急に対応してほしいと要求していたが、その後の対応は。



ふれあい館なごみ旧校舎

家具転倒防止等対策費補助金について

築地 仲音 総務課長

多くの住民の皆様にご利用頂きたい。



大坪 千倫 議員

築地総務課長 家具の転倒やガラスの飛散防止等に要する費用を支援する制度である。補助額は、購入費と取付作業費を合わせて1世帯当たり上限2万円。地震時における家具転倒によるけがの防止や室内での避難経路確保に繋がるものと考えている。

高知県の中でも特に津波到着時間が早いと想定される本町は、十分な事前防災に取り組む必要がある。

○ 室内の防災対策を進める補助金として『家具転倒防止等対策費補助金』がある。この補助金の内容を聞く。



仮設住宅について

奥村 忍 住民課長補佐

仮設住宅は、被災後3週間で建設される。

○ 仮設住宅はいつ頃、どこに設置され、どのような方が入居できるのか。 被災後3週間で建設され、おおむね5年間入居可能である。具体的に入居基準などはこれからの検討段階にある。

○ 仮設住宅はいつ頃、どこに設置され、どのような方が入居できるのか。 被災後3週間で建設され、おおむね5年間入居可能である。具体的に入居基準などはこれからの検討段階にある。

がんばる農業支援事業費補助金について

生田 憲一 産業建設課長

機械修繕を補助対象とするか再検討。中古機械購入は補助対象とするよう準備を進める。

○ 機械修繕を補助対象に追加してはどうか。 生田産業建設課長 以前にも検討したことはあつたが、その時は、懸念点があり導入を見送った。今後、補助対象にするか再検討していきたい。

○ 中古機械購入を補助対象に追加してはどうか。 生田産業建設課長

メーカーまたは小売店が一定期間以上使用できると保証されるものであれば、補助対象としても問題ないと考えている。できるだけ早く実現できるように準備を進めていきたい。

○ 補助金を受け取る方法として『概算払い』という手段がある。概算払いの内容を聞く。 生田産業建設課長

概算払いとは、交付決定後の補助金の一部を事前の前払いする仕組みを指す。補助金の交付決定を受けた方であれば申請でき、交付決定額の9割を先に支給して、事業実績報告書が提出された後に残分を支給する流れである。

○ 現在、商工持続発展支援事業は廃止されている。廃止理由の一



輪島市仮設住宅

つは同一事業者が何度か補助金を受け取られるような仕組みについて問題視されていたことであった。がんばる農業・漁業支援事業費補助金はそのような問題となっていないことはないか。 生田産業建設課長

この補助金を使用して購入する機械や製品については、農業や漁業以外に使用できるものは少なく、生業に直結したものが多くことから、複数回の使用でも問題ないと考えている。

野根小中一貫校への取り組み、今後の銀杏保育園の運営について

蛭子 浩久 教育長

9月から野根小学校の校舎で。

手島 憲作 住民課長

ゼロになれば休園する。



安岡 良仁 議員

の校舎を使用し、9月から野根小学校の校舎で学校運営を行いたいと考えている。

問 今後の銀杏保育園の運営について聞く。

手島 住民課長 令和9年度には園児がゼロになる可能性があり、ゼロになれば当面は休園する。

問 令和8年度に野根小学校・中学校を一貫教育校とするスケジュールについて聞く。
蛭子 教育長 4月から一貫教育校への体制準備できないことから夏休みまでは、中学校



小学校

「ひきこもり」の実態及び対策について

堀川 歩 地域包括支援センター事務局長

町では3件把握している。

問 ひきこもりの中で「8050問題」が深刻な問題となっている。行政の支援が届かないまま、親が要介護状態、あるいは亡くなるようになってしまふことで一気に生活が成り立たなくなってしまうケースがある。現在、本町で把握している「ひきこもり」の現状について聞く。

堀川 地域包括支援センター事務局長 本町では、民生委員やご近所の方からの情報で令和7年7月末現在で3件把握している。



中学校

保育園の第三者検証委員会の報告及び今後の対応について

田岡 伊織 住民課長

クラス懇談会を開催している。

問 保育園の第三者検証委員会から不適切 保育3件、指摘事項 2件の報告があった。

今後、保護者との信頼関係を回復するために町としてどのような対策、対応を考えているのか。

田岡 住民課長 保護者との信頼関係を築くことを目的にクラス懇談会を開催している。今後、保護者との交流の機会を増やしていきたい。

マイナ保険証の取扱いについて

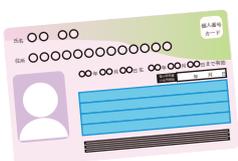
田岡 伊織 住民課長

資格確認証は、来年の7月31日まで。

問 12月2日以降のマイナ保険証の利用率、今後の取り扱いについて聞く。

田岡 住民課長 9月診療分で利用率は、国保57・1%、後期26・9%となっている。資格確認証の有効期

限は、来年の7月31日までとなっている。



保育園訪問 銀杏保育園

自主防災会の町連合会の設立と計画について



○ 南海トラフで避難した住民さんは、どこに戻るのか。高速道の残土で地域の山手に高台を設置してはどうか。
大坪産業建設課長 ト
ンネル残土は、ヘリポート周辺へ埋め立てる予定である。

○ 高齢者の多い本町では、行政と「自主防災会」が連動した「町防災連合会」を立上げ、運営委託すべきである。
大坪産業建設課長 連
合会設置は検討して

町産業振興策に共同組合設置を求め

○ 高齢化、人口減少による漁業の衰退や耕作放棄地が増え、厳しい。各農家が農地を提供し合って、共同組合での運営を提案する。
生田産業建設課長 公
平性や配分利益などの課題から困難である。

○ 高齢者や女性などの活躍の場として「作業応援隊」を立上げ、日当半分の行政支援を提案する。
生田産業建設課長 行
政支援も大事だが、町主導の支援は出来ない。

少子化対策や産業振興、町発展への「住民総会」について

○ 人口減少と高齢化

いない。

による衰退は問題である。「住民総会」の開催を求め。
長崎町長 議会の「地区懇談会」で提案してはどうか。

漁業・農業の後継者育成について

○ 町主導で「長太郎貝」や「イカ」など養殖の考えを聞く。
生田産業建設課長 養
殖事業は、投資や管理など必要。町主導での推進は考えていない。

○ 漁業免許の取得などを全額町負担で支援し、後継者育成を求め。
生田産業建設課長 町
は小型船舶の免許費用の半分や就業支援金・5万円を支援している。

○ 廃業者から町が船や漁具を買上げ、共同組合の検討を求め。
生田産業建設課長 支

少子化対策に仲人支援を求め

○ 成立後の褒賞による仲人制を立ち上げないのか。人口増加や町活性化を望んでいるのか聞く。
奥村住民課長補佐 町
の仲人制は、個人情報
の観点から困難である。

物価高騰対策について

○ 物価高騰に苦しむ生活困窮者などへの支援を求め。
田岡住民課長 特定者
への支援は不公平感が出る。

有害獣の絶滅対策について

○ 担い手不足と有害獣の被害が、農業衰退

援は、公平性の確保が困難で出来ない。

の元凶となっている。捕獲報奨金のアップや免許取得、更改費用などを支援して捕獲者数の増加を求め。
生田産業建設課長 報
奨金は、町の被害対策協議会で検討したい。免許新規取得講習費用は全額を、他の手数料は半額を補助している。

防災・復興の高台造成について

○ 住民さんの命、財産を守り、町に住み続けるには、高台造成・移転しかない。「検討の会」を立上げ準備に入ろうではないか。
大坪産業建設課長 消
防署の高台移転を考
えている。1月から
高台移転など事前復
興の議論を進めたい。

○ 全町挙げての防災・復興への検討・協議を行わないのか。

大坪産業建設課長 甲
浦地区で、住民20人
で事前復興の検討の準備
中である。命を守る対策
も引き続き注力していく。

監査委員などの人選について

○ 元職員を何故選ぶのか。第三者の人選を求めらるかどうか。
長崎町長 人事案件と
して議会審査を受け、
問題はない。

勤勉手当支給を聞く

○ 各種報酬や期末手当が支給されている。住民困窮の折に正当な審査もせず、全職員に計4千万円近い勤勉手当の支給が必要か。特に優秀な職員への褒賞手当として人材育成と町活性化に取り組もうではないか。
築地総務課長 正当な
審査を行い支給している。

私たちの出務状況を公表します！

令和7年10月から令和7年12月までの会議、委員会への出欠状況

○：出席 ●：欠席 /：対象外 ◎：議長として出席

会議名	議員名							
	議長 福島登	副議長 廣田齋史	1番 大坪千倫	3番 安岡良仁	4番 高畠俊彦	5番 武山裕一	6番 今宮裕明	7番 田島毅三夫
10/ 2 総務教育民生常任委員会	○	/	/	○	○	○	○	/
10/ 8 第63回四国地区町村会議会議長会研修会	○	○	○	○	●	●	●	○
10/15 議会運営委員会	◎	/	○	○	○	/	○	/
10/15 議員全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○
10/15 令和7年第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○
10/30 広報編集委員会	○	○	●	○	/	/	○	/
11/ 4 総務教育民生常任委員会 保育園訪問	○	○	○	○	○	●	○	○
11/ 6 総務教育民生常任委員会 学校訪問、総括	○	○	○	○	○	●	○	○
11/ 7 広報編集委員会	○	○	○	○	/	/	○	/
11/19 広報編集委員会	○	○	○	○	/	/	○	/
12/ 8 議会運営委員会	◎	/	○	○	○	/	○	/
12/ 8 議員全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○
12/ 8 東洋町議会のデジタル化に関する特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○
12/11 令和7年第4回定例会（1日目）	○	○	○	○	○	○	○	○
12/11 総務教育民生常任委員会	○	/	/	○	○	○	○	/
12/15 議会運営委員会	◎	/	○	○	○	/	○	/
12/18 令和7年第4回定例会（2日目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※ここでは、本会議、委員会、その他議長又は委員長が参加・出席を要請、案内した活動のみ掲載しています。

議会の動き

12月

25 24 23 2 日 日 日 日
高知県町村議会議長会理事会
安芸郡町村議会議長会・臨時総会
令和7年第3回安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合議会定例会（奈半利町）
令和7年第3回ごめん・なはり線活性化協議会総会
令和7年第3回安芸広域市町村圏事務組合議会定例会（安芸市）

11月

17 14 12 11 10 1 日 日 日 日 日 日
高知県戦没者追悼式
安芸郡町村議会議長会 開成町議会視察研修（神奈川県開成町）
海部郡・安芸郡議長連合会 中央要望活動
県選出国会議員と町村議会議長との意見交換会
第69回町村議会議長全国大会
第77回関東高知県人大懇親会
四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟
令和7年度秋期 国土交通省（本庁）要望活動
奈半利室戸道路建設促進協議会令和7年度国土交通省への要望活動（東京都）
高知県道路課への要望活動（高知市）

10月

31 29 28 26 23 21 18 11 6 5 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
安田町制施行100周年記念式典（安田町）
徳島県知事・県議会議長への要望活動（徳島市）
第13回高知東海岸クルメまつり&鉄道の日イベント開会セレモニー（安芸市）
県選出国会議員と町村長・町村議会議長との意見交換会（高知市）
四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟
令和7年度秋期 四国地方整備局要望（高松市）
一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟・
国道493号整備促進期成同盟（高松市）
令和7年度秋期 四国地方整備局合同要望活動（高松市）
令和7年第1回安芸広域市町村圏事務組合議会臨時会（安芸市）
東洋町文化祭（東洋町）
令和7年第2回安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合議会定例会（奈半利町）
高知新聞社室戸支局 新局舎落成式（室戸市）
令和7年度トップセミナー（高知市）



安芸郡議長会
高知県選出国會議員への要望



安芸郡・海部郡議長会
国會議員・国土交通省への要望



学校訪問 甲浦中学校



町村議会議長全国大会

議会をぜひ傍聴してください！

IP告知端末で議会放送をしていますが、議場には**7席の傍聴席**を設けています。定例会中は、途中からでも短時間でも傍聴することが可能です。ぜひ、役場2階の議場へお越しください。

次回：令和8年第1回定例会（3月）

※IP告知端末4ch、ライブビジョンで生中継しています。

東洋町の行政・防災
情報アプリ

「Lifevision」(ライブビジョン)

で見れます。



▲App Store
でダウンロード



▲Google Play
でダウンロード



令和8年も早いもので1ヶ月が過ぎ、梅のつぼみもほころび始める頃となりました。国会では、石破内閣に代わり高市連立内閣が発足し、国政運営を推進しております。本町では、現職の議員任期が1月末で満了となり、選挙により新しい議員が選出されます。従いまして、3月の定例会からは、新議員のメンバーにより議会だよりの発行となります。今後、ぜひ、議会だよりをご愛読いただければ幸いです。

（今宮裕明 委員）

編集後記